

# 月曜

教科名	科目名	履修条件		必修・選択必修・選択の別	担当教員
国語	言語文化	なし		必修	
単位数	開講時間数	必要面接時間数	テスト回数	レポート枚数	最終締め切り日
前期 2	前期 9	前期 4	前期 2	前期 6	前期 9月 2日

教科書・学習書等	新編言語文化（言文002-901 東京書籍） 学習書	成績評価の方法	学習態度、レポート、テストの成績を総合的に評価
学習の到達目標			
言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語での確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。			
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。	

## 面接指導計画

回	月日	指導内容・テスト及びその範囲（レポート番号）	出席記録	教科書範囲	レポートNo.	提出期限	送付・提出した日	レポート受取日	
前期	第1回	4月20日 随筆 「さくらさくらさくら」俵万智		P10～P17	1	5月11日			
	第2回	4月27日 詩歌 柳あをめる【短歌】		P54～P57	〃				
	第3回	5月11日 古文入門 古文学習のしるべ1 古文の言葉と仮名遣い 児のそら寝『宇治拾遺物語』		P128～P131	2	5月18日			
	第4回	5月18日 漢文入門 訓読の基本 訓読 格言		P218～P221	3	6月8日			
	第5回	6月1日 故事成語 五十歩百歩『孟子』		P230～P231	〃				
	第6回	6月8日 小説 「とんかつ」三浦哲郎①		P24～P35	4				
	テスト	6月22日	第1回テスト（範囲：レポート1, 2, 3）		受験したら○→		受験しなかった場合は再試を申し込みましょう		
	第7回	6月29日 小説 「とんかつ」三浦哲郎②		P24～P35	4	7月6日			
	第8回	7月6日 詩歌 雪の深さを【俳句】		P58～P61	5	8月24日			
	第9回	8月24日 随筆 亀山殿の御池に『徒然草』		P146～P147	6	8月26日			
テスト	9月7日	第2回テスト（範囲：レポート4, 5, 6）		受験したら○→		受験しなかった場合は再試を申し込みましょう			

履修上の注意	<ul style="list-style-type: none"> <li>必要面接時間数は4回ですが、なるべく全てのスクーリングに出席するよう心がけること。</li> <li>レポートの提出期限を守り、本試験での受験を心がけること。</li> </ul>
--------	---

# 月曜

教科名	科目名	履修条件		必修・選択必修・選択の別	担当教員
国語	現代の国語	なし		必修	
単位数	開講時間数	必要面接時間数	テスト回数	レポート枚数	最終締め切り日
後期 2	後期 9	後期 4	後期 2	後期 6	後期 1月27日

教科書・学習書等	新編現代の国語（現国002-901 東京書籍） 学習書	成績評価の方法	学習態度、レポート、テストの成績を総合的に評価
学習の到達目標			
言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。			
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。	

## 面接指導計画

回	月日	指導内容・テスト及びその範囲（レポート番号）	出席記録	教科書範囲	レポートNo.	提出期限	送付・提出した日	レポート受取日
第1回	10月5日	自己を見つめる 「ルリボシカミキリの青」 福岡伸一		P12～P17	1	10月19日		
第2回	10月19日	他者に出会う 「水の東西」 山崎正和		P33～P38	2	10月26日		
第3回	10月26日	視野を広げる 「無彩の色」 港 千尋		P78～P86	3	11月16日		
第4回	11月9日	言葉と生活 異なる種類の文章を読み比べよう		P56～P62	〃			
第5回	11月16日	社会と関わる 「鍋洗いの日々」 村上信夫		P100～P105	4			
後期 テスト	11月30日	第1回テスト（範囲：レポート1, 2, 3）		受験したら○➡		受験しなかった場合は再試を申し込みましょう		
第6回	12月7日	世界とつながる 「美しさの発見」 高階秀爾		P152～P159	4	12月14日		
第7回	12月14日	世界とつながる 「りんごのほっぺ」 渡辺美佐子		P160～P168	5	12月21日		
第8回	12月21日	未来に目を向ける 「真の自立とは」 鷲田清一		P193～P201	6	1月20日		
第9回	1月18日	言葉と生活 グラフや写真の読み取り方		P63～P66	〃			
テスト	2月1日	第2回テスト（範囲：レポート4, 5, 6）		受験したら○➡		受験しなかった場合は再試を申し込みましょう		

履修上の注意	<ul style="list-style-type: none"> <li>必要面接時間数は4回ですが、なるべく全てのスクーリングに出席するよう心がけること。</li> <li>レポートの提出期限を守り、本試験での受験を心がけること。</li> </ul>
--------	---

# 月曜

教科名	科目名	履修条件		必履・選択必履・選択の別	担当教員
国語	国語表現	現代の国語と言語文化を履修していること		選択	
単位数	開講時間数	必要面接時間数	テスト回数	レポート枚数	最終締め切り日
前期 2	前期 9	前期 4	前期 2	前期 6	前期 9月 2日
後期 2	後期 9	後期 4	後期 2	後期 6	後期 1月27日

教科書・学習書等	国語表現 (国表701 大修館書店) 学習書	成績評価の方法	学習態度、レポート、テストの成績を総合的に評価
学習の到達目標			
言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語での確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。			
知識・技能		思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。		論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、実社会における他者との多様な関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉が持つ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

## 面接指導計画

回	月日	指導内容・テスト及びその範囲 (レポート番号)	出席記録	教科書範囲	レポートNo.	提出期限	送付・提出した日	レポート受取日	
前期	第1回	言葉と出会う①〈言葉と表記・話し言葉と書き言葉〉		P12~P15 P20	1	5月11日			
	第2回	言葉と出会う②〈原稿用紙の使い方〉		P26~P27 巻末資料	〃				
	第3回	相手に応じた言葉遣い〈敬語を使い分ける〉		P21 P232~P233	2	5月18日			
	第4回	絵や写真を見て書く		P42~P45	3	6月1日			
	第5回	読書のひろば		P170~P184	4				
	テスト	6月8日	第1回テスト (範囲: レポート1, 2, 3)	受験したら○→			受験しなかった場合は再試を申し込みましょう		
	第6回	6月22日	スピーチをしよう		P156~P157	4	6月29日		
	第7回	6月29日	面接①〈効果的な自己PR〉		P96~P97	5	7月6日		
	第8回	7月6日	面接②〈履歴書の書き方〉		P108~P109	6	8月26日		
	第9回	8月24日	面接③〈面接にチャレンジ〉		P110~P113	〃			
テスト	9月7日	第2回テスト (範囲: レポート4, 5, 6)	受験したら○→			受験しなかった場合は再試を申し込みましょう			

後期	第1回	10月5日	手紙のいろいろ〈日本一短い手紙〉		P128~P133	7	10月26日		
	第2回	10月19日	手紙の書き方		〃	〃			
	第3回	10月26日	小論文とは何か 反論を想定して書く		P54~P61	8	11月16日		
	第4回	11月9日	統計資料を読み取って書く		P66~P69	〃			
	第5回	11月16日	発想を広げて書く		P70~P73	9	11月30日		
	第6回	11月30日	言葉で遊ぶ〈今年の漢字〉		P186~P191	10			
	テスト	12月7日	第3回テスト (範囲: レポート7, 8, 9)	受験したら○→			受験しなかった場合は再試を申し込みましょう		
	第7回	12月14日	相手や場面に応じた会話 電話を使いこなす		P152~P155 P134~P135	10	12月21日		
	第8回	12月21日	メディアと情報①〈新聞記事を読む〉		P144~P145	11	1月18日		
	第9回	1月18日	メディアと情報② 〈メディアを考える・メディアを比較する〉		P144~P150	12	1月20日		
テスト	2月1日	第4回テスト (範囲: レポート10, 11, 12)	受験したら○→			受験しなかった場合は再試を申し込みましょう			

履修上の注意	<ul style="list-style-type: none"> <li>必要面接時間数は4回ですが、<u>レポート作成に必要な資料を提示・配布する日があるので、全てのスクーリングに出席する心がけること。</u></li> <li>レポートの提出期限を守り、本試験での受験を心がけること。</li> </ul>
--------	---

# 月曜

教科名	科目名	履修条件		必履・選択必履・選択の別	担当教員
地理歴史	歴史総合	特になし		必履修	
単位数	開講時間数	必要面接時間数	テスト回数	レポート枚数	最終締め切り日
前期 2	前期 9	前期 2	前期 2	前期 6	前期 9月2日

教科書・学習書等	東京書籍 『新選歴史総合』（歴総002-901） 第一学習社 『ダイアログ歴史総合』	成績評価の方法	平常点(授業態度)、レポート、テストの成績を総合的に評価
学習の到達目標			
社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成する。			
知識・技能		思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界とそれの中の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付ける。		近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

## 面接指導計画

回	月日	指導内容・テスト及びその範囲（レポート番号）	出席記録	教科書範囲	レポートNo.	提出期限	送付・提出した日	レポート受取日
第1回	4月20日	第1章 歴史の扉 1節 歴史と私たち 2節 歴史の特質と資料		p.6～p.47	1	5月11日		
第2回	4月27日	第2章 近代化と私たち 1節 近代化への問い 2節 アジアの繁栄と西洋近代の形成						
第3回	5月11日	3節 世界の一体化と多様な近代化 4節 近代化と現代的な諸課題		p.48～p.79	2	5月18日		
第4回	5月18日	第3章 国際秩序の変化や大衆化と私たち 1節 国際秩序の変化や大衆化への問い 2節 第一次世界大戦と大衆社会		p.90～p.107	3	6月1日		
第5回	6月1日	まとめ						
前期 テスト	6月8日	第1回テスト（範囲：レポート1, 2, 3）	受験したら○➡			受験しなかった場合は再試を申し込みましょう		
第6回	6月22日	3節 経済危機と第二次世界大戦 4節 国際秩序の変化や大衆化と現代的な諸課題		p.110～p.137	4	6月29日		
第7回	6月29日	第4章 グローバル化と私たち 1節 グローバル化への問い 2節 冷戦と世界経済		p.146～p.165	5	7月6日		
第8回	7月6日	3節 世界秩序の変容と日本 4節 現代的な諸課題の形成と展望		p.168～p.195	6	8月24日		
第9回	8月24日	まとめ						
テスト	9月7日	第2回テスト（範囲：レポート4, 5, 6）	受験したら○➡			受験しなかった場合は再試を申し込みましょう		

履修上の注意	各レポートの提出期限を遵守すること。テストまでに対象のレポートが全て合格していること。テスト当日にレポートを提出しても受験できないので注意すること。
--------	--

# 月曜

教科名	科目名	履修条件		必履・選択必履・選択の別	担当教員
地理歴史	地理総合	特になし		必履修	
単位数	開講時間数	必要面接時間数	テスト回数	レポート枚数	最終締め切り日
後期 2	後期 9	後期 2	後期 2	後期 6	後期 1月27日

教科書・学習書等	帝国書院 『高等学校新地理総合』（地総046-901） 帝国書院 『新詳高等地図』（地図046-901）	成績評価の方法	平常点（授業態度）、レポート、テストの成績を総合的に評価
学習の到達目標			
社会的事象の地理的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成する。			
知識・技能		思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
世界の生活文化の多様性や、防災、地域や地球的課題への取組などを理解するとともに、地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べとめる技能を身に付ける。		事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとする大切さについての自覚などを深める。

## 面接指導計画

回	月日	指導内容・テスト及びその範囲（レポート番号）	出席記録	教科書範囲	レポートNo.	提出期限	送付・提出した日	レポート受取日
第1回	10月5日	第1部 地図でとらえる現代世界 第1章 地図と地理情報システム 1節 地球上の位置と時差 2節 地図の役割と種類		p.6～p.42	1	10月26日		
	第2回	10月19日	第2章 結び付きを深める現代世界 1節 現代世界の国家と領域 2節 グローバル化する世界					
第3回	10月26日	第2部 国際理解と国際協力 第1章 生活文化の多様性と国際理解 序説 生活文化の多様性 1節 世界の地形と人々の生活 2節 世界の気候と人々の生活		p.44～p.85	2	11月9日		
第4回	11月9日	3節 世界の言語・宗教と人々の生活 4節 歴史的背景と人々の生活		p.86～p.109	3	11月16日		
第5回	11月16日	まとめ						
テスト	11月30日	第1回テスト（範囲：レポート1，2，3）	受験したら○➡			受験しなかった場合は再試を申し込みましょう		
第6回	12月7日	5節 世界の産業と人々の生活		p.110～p.133	4	12月14日		
第7回	12月14日	第2章 地球的課題と国際協力 1節 地球環境問題 2節 資源・エネルギー問題 3節 人口問題 4節 食料問題 5節 都市・居住問題 6節 地球的課題の解決に向けて		p.136～p.182	5	12月21日		
第8回	12月21日	第3部 持続可能な地域づくりと私たち 第1章 自然環境と防災 1節 日本の自然環境 2節 地震・津波と防災 3節 火山災害と防災 4節 気象災害と防災 5節 自然災害への備えと復旧・復興		p.184～p.216	6	1月18日		
第9回	1月18日	まとめ						
テスト	2月1日	第2回テスト（範囲：レポート4，5，6）	受験したら○➡			受験しなかった場合は再試を申し込みましょう		

履修上の注意	各レポートの提出期限を遵守すること。テストまでに対象のレポートが全て合格していること。テスト当日にレポートを提出しても受験できないので注意すること。
--------	--

月曜

教科名	科目名	履修条件		必履・選択必履・選択の別	担当教員
地理歴史	世界史探究	「歴史総合」履修後		選択	
単位数	開講時間数	必要面接時間数	テスト回数	レポート枚数	最終締め切り日
前期 2	前期 9	前期 2	前期 2	前期 6	前期 9月2日
後期 2	後期 9	後期 2	後期 2	後期 6	後期 1月27日

教科書・学習書等	教科書「世界史探究」(東京書籍:世探 701) 学習書「最新世界史図説 タペストリー 二十四訂版」(帝国書院)	成績評価の方法	平常点(授業態度)、レポート、テストの成績を総合的に評価
学習の到達目標			
社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成する。			
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解するとともに、諸資料から世界の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめている。	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現代世界とのつながりなどに着目して、概念などを多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題の解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりしている。	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、よりよい社会の表現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深めようとしている。	

面接指導計画

回	月日	指導内容・テスト及びその範囲(レポート番号)	出席記録	教科書範囲	レポートNo.	提出期限	送付・提出した日	レポート受取日
第1回	4月20日	世界史へのまなざし 西アジアと地中海周辺		p.12 ~47	1	5月11日		
第2回	4月27日							
第3回	5月11日	南アジア 東南アジア		p.22~87 p.164~166	2	5月18日		
第4回	5月18日	東アジアと中央ユーラシア		p.33 ~95	3	6月1日		
第5回	6月1日	まとめ						
前期 テスト	6月8日	第1回テスト(範囲:レポート1, 2, 3)		受験したら○→			受験しなかった場合は再試を申し込みましょう	
第6回	6月22日	アフリカ,オセアニア,古アメリカ イスラーム世界の拡大と繁栄		p.59 ~163	4	6月29日		
第7回	6月29日	中世ヨーロッパ		p.52 ~140	5	7月6日		
第8回	7月6日	中華帝国の変容とモンゴル帝国 ほか		p.92 ~192	6	8月24日		
第9回	8月24日	まとめ						
テスト	9月7日	第2回テスト(範囲:レポート4, 5, 6)		受験したら○→			受験しなかった場合は再試を申し込みましょう	

第1回	10月5日	大交易時代と世界の一体化 主権国家体制の形成と地球規模での交易の拡大		p.141~143 p.170~224	7	10月26日		
第2回	10月19日							
第3回	10月26日	国民国家と近代社会の形成		p.216 ~257	8	11月9日		
第4回	11月9日	世界市場の形成とアジア諸国の変容 アジア・アフリカ諸国の統治再編と世界分割の進行		p.245 ~290	9	11月16日		
第5回	11月16日	まとめ						
後期 テスト	11月30日	第3回テスト(範囲:レポート7, 8, 9)		受験したら○→			受験しなかった場合は再試を申し込みましょう	
第6回	12月7日	第一次世界大戦の展開と諸地域の変容		p.275 ~325	10	12月14日		
第7回	12月14日	国際協調体制の動揺と第二次世界大戦		p.308 ~339	11	12月21日		
第8回	12月21日	冷戦の変容・終結と経済のグローバル化 冷戦の世界化と国際制度		p.332 ~383	12	1月18日		
第9回	1月18日	まとめ						
テスト	2月1日	第4回テスト(範囲:レポート10, 11, 12)		受験したら○→			受験しなかった場合は再試を申し込みましょう	

履修上の注意	各レポートの提出期限を遵守すること。テストまでに対象のレポートが全て合格していること。テスト当日にレポートを提出しても受験できないので注意すること。
--------	--

# 月曜

教科名	科目名	履修条件		必履・選択必履・選択の別	担当教員
公民	公共	特になし		必履修	
単位数	開講時間数	必要面接時間数	テスト回数	レポート枚数	最終締め切り日
前期 2	前期 9	前期 2	前期 2	前期 6	前期 9月2日

教科書・学習書等	教科書：「公共」（東京書籍：公共002-901） 学習書：「ライブ！2026 公共を考える」（帝国書院）	成績評価の方法	平常点（授業態度）、レポート、テストの成績を総合的に評価
学習の到達目標			
人間と社会の在り方についての見方・考え方を働かせ、現代の諸課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生き平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成する。			
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
現代の諸問題について考察し、選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解する。	現実社会の諸課題の解決に向けて、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力を養う。	公共的な空間に生き国民主権を担う公民として、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚を深める。	

## 面接指導計画

回	月日	指導内容・テスト及びその範囲（レポート番号）	出席記録	教科書範囲	レポートNo.	提出期限	送付・提出した日	レポート受取日
第1回	4月20日	公共的な空間をつくる私たち 公共的な空間における人間としての在り方生き方		p. 10 ~35	1	5月11日		
第2回	4月27日							
第3回	5月11日	公共的な空間における基本的原理		p. 36 ~55	2	5月18日		
第4回	5月18日	民主政治と私たち		p. 58 ~83	3	6月1日		
第5回	6月1日	まとめ						
前期 テスト	6月8日	第1回テスト（範囲：レポート1, 2, 3）					受験しなかった場合は再試を申し込みましょう	
第6回	6月22日	法の働きと私たち		p. 84 ~111	4	6月29日		
第7回	6月29日	経済社会で生きる私たち		p. 112 ~145	5	7月6日		
第8回	7月6日	私たちの職業生活 国際社会のなかで生きる私たち		p. 146 ~195	6	8月24日		
第9回	8月24日	まとめ						
テスト	9月7日	第2回テスト（範囲：レポート4, 5, 6）					受験しなかった場合は再試を申し込みましょう	

履修上の注意	各レポートの提出期限を遵守すること。テストまでに対象のレポートが全て合格していること。テスト当日にレポートを提出しても受験できないので注意すること。
--------	--

# 月曜


教科名	科目名	履修条件		必修・選択必修・選択の別	担当教員
数学	数学 I	なし		必修	
単位数	開講時間数	必要面接時間数	テスト回数	レポート枚数	最終締め切り日
前期 2	前期 9	前期 4	前期 2	前期 6	前期 9月2日
後期 2	後期 9	後期 4	後期 2	後期 6	後期 1月27日

教科書・学習書等	東京書籍 改訂版 新 数学 I (002-905, 002-906) NHK出版 新 数学 I 学習書	成績評価の方法	学習態度、レポート、テストの成績を総合的に評価
学習の到達目標			
数と式、図形と計量、2次関数及びデータの分析についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。			
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
数と式、図形と計量、2次関数及びデータの分析についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解している。	数や式を多面的にみたり目的に応じて適切に変形したりする力、図形の性質や計量について論理的に考察し表現する力、事象を的確に表現してその特徴を表、式、グラフを相互に関連付けて考察する力を身に付けている。	数学のよさを認識し数学を活用しようとし、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしていたりしている。	

## 面接指導計画

回	月日	指導内容・テスト及びその範囲（レポート番号）	出席記録	教科書範囲	レポート No.	提出期限	送付・提出した日	レポート受取日
第1回	4月20日	整数の計算		4 ~11	1	4月27日		
第2回	4月27日	小数・分数の計算、計算の利用		12 ~23	2	5月11日		
第3回	5月11日	正負の数の計算		24 ~29	3	5月18日		
第4回	5月18日	文字と式		32 ~47	4			
テスト	6月1日	第1回テスト（範囲：レポート1, 2, 3）		受験したら○→		受験しなかった場合は再試を申し込みましょう		
前期 第5回	6月8日	文字と式		32 ~47	4	6月22日		
第6回	6月22日	実数		48 ~57	5			
第7回	6月29日	実数		48 ~57	5	7月6日		
第8回	7月6日	方程式と不等式		58 ~71	6			
第9回	8月24日	方程式と不等式		58 ~71	6	9月2日		
テスト	9月7日	第2回テスト（範囲：レポート4, 5, 6）		受験したら○→		受験しなかった場合は再試を申し込みましょう		

第1回	10月5日	2次関数とそのグラフ		74 ~91	7			
第2回	10月19日	2次関数とそのグラフ		74 ~91	7	10月26日		
第3回	10月26日	2次関数の値の変化		92~ 101	8			
第4回	11月9日	2次関数の値の変化		92~ 101	8	11月16日		
第5回	11月16日	鋭角の三角比		104~116	9	11月30日		
後期 第6回	11月30日	三角比の応用		117~127	10			
テスト	12月7日	第3回テスト（範囲：レポート7, 8, 9）		受験したら○→		受験しなかった場合は再試を申し込みましょう		
第7回	12月14日	三角比の応用		117~127	10	12月21日		
第8回	12月21日	データの分析		130~147	11	1月10日		
第9回	1月18日	集合と論証		150~160	12	1月27日		
テスト	2月1日	第4回テスト（範囲：レポート10, 11, 12）		受験したら○→		受験しなかった場合は再試を申し込みましょう		

履修上の注意		←NHK 高校講座を活用してください
--------	---	--------------------

# 月曜

教科名	科目名	履修条件		必履・選択必履・選択の別	担当教員
数学	数学B	数学 I を履修後に受講		選択	
単位数	開講時間数	必要面接時間数	テスト回数	レポート枚数	最終締め切り日
後期 2	後期 9	後期 4	後期 2	後期 6	後期 1月27日

教科書・学習書等	数研出版 新高校の数学B (714)	成績評価の方法	学習態度、レポート、テストの成績を総合的に評価
学習の到達目標			
<p>数列、統計的な推測についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、数学と社会生活の関わりについて認識を深め、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。</p>			
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
<p>数列、統計的な推測についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解している。</p>	<p>離散的な変化の規則性に着目し、事象を数学的に表現し考察する力を身に付けている。 確率分布や標本分布の性質に着目し、母集団の傾向を推測し判断したり、標本調査の方法や結果を批判的に考察したりする力を身に付けている。</p>	<p>数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとしたり、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。</p>	

## 面接指導計画

回	月日	指導内容・テスト及びその範囲（レポート番号）	出席記録	教科書範囲	レポート No.	提出期限	送付・提出した日	レポート受取日
第1回	10月5日	等差数列		8～15	1	10月19日		
第2回	10月19日	等比数列		16～23	2	10月26日		
第3回	10月26日	和の記号 $\Sigma$ 、階差数列		24～31	3			
第4回	11月9日	和の記号 $\Sigma$ 、階差数列		24～31	3	11月16日		
第5回	11月16日	確率		46～47	4			
後期 テスト	11月30日	第1回テスト（範囲：レポート1, 2, 3）		受験したら○→		受験しなかった場合は再試を申し込みましょう		
第6回	12月7日	確率		46～47	4	12月14日		
第7回	12月14日	確率変数と確率分布		48～53	5			
第8回	12月21日	確率変数と確率分布 二項分布		48～57	5.6	1月10日		
第9回	1月18日	二項分布		54～57	6	1月27日		
テスト	2月1日	第2回テスト（範囲：レポート4, 5, 6）		受験したら○→		受験しなかった場合は再試を申し込みましょう		

履修上の注意	
--------	--

# 月曜

教科名	科目名	履修条件			必修・選択必修・選択の別	担当教員
理科	生物基礎	なし			選択必修	
単位数	開講時間数	必要面接時間数	テスト回数	レポート枚数	レポート・放送視聴票最終締め切り日	
後期 2	後期 9	後期 8	後期 2	後期 6	後期 1月27日	

教科書・ 学習書等	東京書籍 『改訂 新編 生物基礎』 (生基002-902) NHK出版 新編生物基礎 学習書	対応視聴番組※	成績評価の 方法	学習態度, レポート, テストの成績を総合的に評価
		NHK高校講座 「生物基礎」		
学習の到達目標				
物質とその変化に関わり, 理科の見方・考え方を働かせ, 見通しをもって観察・実験を行うことなどを通して, 物質とその変化を科学的に探究するために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。				
知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度
日常生活や社会との関連を図りながら, 物質とその変化についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに, 科学的に探究するために必要な観察, 実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。		科学と人間生活の関わりについて, 見通しをもって観察, 実験などを行い, 得られた結果を分析して解釈し, 表現するなど, 科学的に探究している。		科学と人間生活の変化に主体的に関わり, 見通しをもって振り返り振り返りするなど, 科学的に探究しようとしている。

## 面接指導計画

回	月日	指導内容・テスト及びその範囲 (レポート番号)	対応視聴番組※の回	出席記録	教科書範囲	レポートNo.	提出期限	送付・提出した日	レポート受取日
第1回	10月5日	1編 生物の特徴 1章 生物の共通性と共通性	1~4		P14~33	1			
第2回	10月19日	2章 生物とエネルギー 2編 遺伝子とそのはたらき 1章 遺伝情報とDNA	5~9		P34~54	1・2	<b>No.1 10月26日</b>		
第3回	10月26日	2章 遺伝情報とタンパク質	10~16		P55~73	2	<b>No.2 11月9日</b>		
第4回	11月9日	3編 ヒトの体の調節 1章 ヒトの体を調節するしくみ	17~19		P80~95	3			
第5回	11月16日	1章 ヒトの体を調節するしくみ	20~23		P96~111	3・4	<b>No.3 11月30日</b>		
第6回	11月30日	2章 免疫のはたらき	24~27		P112~121	4	<b>No.4 12月7日</b>		
テスト	12月7日	<b>第1回テスト (範囲: レポート1, 2, 3)</b>		受験したら○➡			受験しなかった場合は再試を申し込みましょう		
第7回	12月14日	4編 生物の多様性と生態系 1章 植生と遷移	28~30		P128~141	5			
第8回	12月21日	1章 植生と遷移 2章 生態系と生物の多様性	31~35		P142~155	5・6	<b>No.5 1月18日</b>		
第9回	1月18日	2章 生態系と生物の多様性	36~40		P156~169	6	<b>No.6 1月25日</b>		
テスト	2月1日	<b>第2回テスト (範囲: レポート4, 5, 6)</b>		受験したら○➡			受験しなかった場合は再試を申し込みましょう		

履修上の注意	必要面接時間数が多いので欠席しないこと。レポートが合格していないとテストを受けることはできません。レポート提出期限を守ってください。
--------	--

# 月曜

教科名	科目名	履修条件			必修・選択必修・選択の別	担当教員
理科	化学基礎	なし			選択必修	
単位数	開講時間数	必要面接時間数	テスト回数	レポート枚数	レポート・放送視聴票最終締め切り日	
前期 2	前期 9	前期 8	前期 2	前期 6	前期 9月 2日	

教科書・ 学習書等	東京書籍 化基002-902 改訂新編化学基礎 NHK出版 新編化学基礎 学習書	対応視聴番組※	成績評価の 方法	学習態度、レポート、テストの成績を総合的に評価
		NHK高校講座 「化学基礎」		
学習の到達目標				
物質とその変化に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察・実験を行うことなどを通して、物質とその変化を科学的に探究するために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。				
知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度
日常生活や社会との関連を図りながら、物質とその変化についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。		物質とその変化から問題を見だし、見通しをもって観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探究している。		物質とその変化に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。

## 面接指導計画

回	月日	指導内容・テスト及びその範囲（レポート番号）	対応視聴番組※の回	出席記録	教科書範囲	レポートNo.	提出期限	送付・提出した日	レポート受取日
第1回	4月20日	1編 物質の構成 1章 物質の成分と構成元素	1～3		P24～35	1			
第2回	4月27日	1編 物質の構成 1章 物質の成分と構成元素 2章 源信構造と元素の周期表	4～6		P36～47	1・2	<b>No.1 5月11日</b>		
第3回	5月11日	1編 物質の構成 2章 原子の構造と元素の周期表 3章 化学結合	7～9		P48～67	2	<b>No.2 5月18日</b>		
第4回	5月18日	1編 物質の構成 3章 化学結合	10～13		P68～83	3			
第5回	6月1日	1編 物質の構成 3章 化学結合 2編 物質の変化 1章 物質と化学反応式	14～18		P84～99	3・4	<b>No.3 6月8日</b>		
第6回	6月8日	3編 物質の変化 1章 物質と化学反応式	19～24		P100～122	4	<b>No.4 6月22日</b>		
テスト	6月22日	<b>第1回テスト（範囲：レポート1, 2, 3）</b>		受験したら○→			受験しなかった場合は再試を申し込みましょう		
第7回	6月29日	3編 物質の変化 2章 酸と塩基	25～29		p124～137	5			
第8回	7月6日	3編 物質の変化 2章 酸と塩基 3章 酸化還元反応	30～33		p138～155	5・6	<b>No.5 8月24日</b>		
第9回	8月24日	3編 物質の変化 3章 酸化還元反応	34～38		p156～182	6	<b>No.6 8月31日</b>		
テスト	9月7日	<b>第2回テスト（範囲：レポート4, 5, 6）</b>		受験したら○→			受験しなかった場合は再試を申し込みましょう		

履修上の注意	<ul style="list-style-type: none"> <li>必要面接時間数が多いので欠席しないこと。</li> <li>レポートが合格していないとテストを受けることはできない。</li> <li>レポート提出期限を守ること。</li> </ul>
--------	--

# 月曜

教科名	科目名	履修条件			必修・選択必修・選択の別	担当教員
理科	生物	生物基礎を履修していること			選択	
単位数	開講時間数	必要面接時間数	テスト回数	レポート枚数	レポート・放送視聴票最終締め切り日	
前期 2	前期 9	前期 8	前期 2	前期 6	前期 9月 2日	
後期 2	後期 9	後期 8	後期 2	後期 6	後期 1月27日	

教科書・ 学習書等	生物701（東京書籍） ニューステージ生物図表（浜島書店）	対応視聴番組※	成績評価の 方法	学習態度、レポート、テストの成績を総合的に評価
		NHK高校講座 「生物基礎」		
学習の到達目標				
生物や生物現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、生物や生物現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。				
知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度
生物学の基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。		生物や生物現象から問題を見だし、見通しをもって観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探究している。		生物や生物現象に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。

## 面接指導計画

回	月日	指導内容・テスト及びその範囲（レポート番号）	対応視聴番組※の回	出席記録	教科書範囲	レポートNo.	提出期限	送付・提出した日	レポート受取日
前期	第1回	4月20日	1編 生物の進化 1章 生命の起源と細胞の進化 2章 遺伝子の変化と進化のしくみ	1～8		P10～23	1		
	第2回	4月27日	2章 遺伝子の変化と進化のしくみ 3章 生物の系統と進化	1～8		P24～39	1.2	No.1 5月11日	
	第3回	5月11日	3章 生物の系統と進化	1～8		P40～57	2	No.2 5月18日	
	第4回	5月18日	2編 生命現象と物質 1章 細胞と物質	1～8		P58～76	3		
	第5回	6月1日	1章 細胞と物質 2章 代謝とエネルギー	1～8		P77～100	3.4	No.3 6月8日	
	テスト	6月8日	2章 代謝とエネルギー	1～8		P100～123	4	No.4 6月22日	
	第6回	6月22日	第1回テスト（範囲：レポート1, 2, 3）		受験したら○➡			受験しなかった場合は再試を申し込みましょう	
	第7回	6月29日	3編 遺伝情報の発現と発生 1章 遺伝情報とその発現	9～16		P128～144	5		
	第8回	7月6日	1章 遺伝情報とその発現 2章 発生と遺伝子発現	9～16		P145～171	5.6	No.5 8月24日	
	第9回	8月24日	2章 発生と遺伝子発現	9～16		P172～189	6	No.6 8月31日	
テスト	9月7日	第2回テスト（範囲：レポート4, 5, 6）		受験したら○➡			受験しなかった場合は再試を申し込みましょう		

後期	第1回	10月5日	3章 遺伝子を扱う技術	9～16		P190～220	7		
	第2回	10月19日	3章 遺伝子を扱う技術 4編 生物の環境応答 1章 動物の刺激の受容と反応	17～27		P221～244	7.8	No.7 10月26日	
	第3回	10月26日	1章 動物の刺激の受容と反応	17～27		P245～261	8	No.8 11月9日	
	第4回	11月9日	2章 動物の行動	17～27		P262～298	9		
	第5回	11月16日	2章 動物の行動 3章 植物の環境応答	17～27		P299～334	9.10	No.9 11月30日	
	第6回	11月30日	3章 植物の環境応答	28～40		P335～367	10	No.10 12月7日	
	テスト	12月7日	第3回テスト（範囲：レポート7, 8, 9）		受験したら○➡			受験しなかった場合は再試を申し込みましょう	
	第7回	12月14日	5編 生態と環境 1章 個体群と生物群集	28～40		P370～390	11		
	第8回	12月21日	1章 個体群と生物群集 2章 生態系の物質生産と物質循環	28～40		P390～419	11.12	No.11 1月18日	
	第9回	1月18日	2章 生態系の物質生産と物質循環 3章 生態系と人間生活	28～40		P420～445	12	No.12 1月25日	
テスト	2月1日	第4回テスト（範囲：レポート10, 11, 12）		受験したら○➡			受験しなかった場合は再試を申し込みましょう		

履修上の注意	<ul style="list-style-type: none"> <li>必要面接時間数が多いので欠席しないこと。</li> <li>レポートが合格していないとテストを受けることはできません。</li> <li>レポート提出期限を守ってください。</li> </ul>
--------	--

# 月曜

教科名	科目名	履修条件		必修・選択必修・選択の別	担当教員
保健体育	体育②	なし		必修修	
単位数	開講時間数	必要面接時間数	テスト回数	レポート枚数	最終締め切り日
前期 1	前期 7	前期 5	前期 1	前期 2	前期 9月 2日
後期 1	後期 7	後期 5	後期 1	後期 2	後期 1月27日

教科書・学習書等	大修館書店 現代高等保健体育701・NHK出版学習書	成績評価の方法	学習態度、レポート、テストの成績を総合的に評価
学習の到達目標			
各種の運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるようにするとともに、体力の向上を図り、公正、協力、責任などの態度を育て、生涯を通じて継続的に運動をするための課題を発見し、親しむ態度を養う。			
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
体育理論との関連を図り、選択した種目の基本的な技術を身に付ける。	自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的に解決することができる。	公正に対する意識を強く持ち、性別や年齢、障がいの有無にかかわらずスポーツを楽しむことができる。	

## 面接指導計画

回	月日	指導内容・テスト及びその範囲（レポート番号）	出席記録	教科書範囲	レポートNo.	提出期限	送付・提出した日	レポート受取日		
前期	第1回	4月27日		オリエンテーション 体育理論 (No. 1について)		P150～P156	1	5月11日		
	第2回	5月11日		体育理論 (No. 2について)		(学習書) P92～93	2	5月18日		
	第3回	5月18日		体づくり運動						
	第4回	6月1日		バドミントン・卓球・陸上より選択						
	第5回	6月8日		〃						
	第6回	6月22日		〃						
	第7回	6月29日		〃						
	テスト	7月6日			第1回テスト（範囲：レポート1，2）		受験したら〇➡			

後期	第1回	10月19日		オリエンテーション 体育理論 (No. 3について)		P158～P163	3	10月26日		
	第2回	10月26日		体育理論 (No. 4について)		(学習書) P94～95	4	11月9日		
	第3回	11月9日		体づくり運動						
	第4回	11月16日		バドミントン・ニュースポーツより選択						
	第5回	11月30日		〃						
	第6回	12月7日		〃						
	第7回	12月14日		〃						
	テスト	12月21日			第2回テスト（範囲：レポート3，4）		受験したら〇➡			

履修上の注意	前後期、第1回、第2回およびテストは教室で行うため体操服は不要。教科書・学習書・レポートを持参すること。前後期、第3回～第7回は体育館で行う。本校指定の体操服・シューズで参加すること。テストの出席は必要面接時間数には入りません。必要面接時間の5時間で授業をとってください。
--------	--

# 月曜

教科名	科目名	履修条件		必履・選択必履・選択の別	担当教員
保健体育	体育④	なし		必履修	
単位数	開講時間数	必要面接時間数	テスト回数	レポート枚数	最終締め切り日
前期 1	前期 7	前期 5	前期 1	前期 2	前期 9月 2日
後期 1	後期 7	後期 5	後期 1	後期 2	後期 1月27日

教科書・学習書等	大修館書店 現代高等保健体育701・NHK出版学習書	成績評価の方法	学習態度、レポート、テストの成績を総合的に評価
学習の到達目標			
各種の運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるようにするとともに、体力の向上を図り、公正、協力、責任などの態度を育て、生涯を通じて継続的に運動をするための課題を発見し、親しむ態度を養う。			
知識・技能		思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
体育理論との関連を図り、選択した種目の基本的な技術を身に付ける。		自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的に解決することができる。	公正に対する意識を強く持ち、性別や年齢、障がいの有無にかかわらずスポーツを楽しむことができる。

## 面接指導計画

回	月日	指導内容・テスト及びその範囲（レポート番号）	出席記録	教科書範囲	レポートNo.	提出期限	送付・提出した日	レポート受取日		
前期	第1回	4月27日		オリエンテーション 体育理論 (No. 1について)		P182～P189	1	5月11日		
	第2回	5月11日		体育理論 (No. 2について)		(学習書) P104～107	2	5月18日		
	第3回	5月18日		体づくり運動						
	第4回	6月1日		バドミントン						
	第5回	6月8日		〃						
	第6回	6月22日		〃						
	第7回	6月29日		〃						
	テスト	7月6日			第1回テスト（範囲：レポート1，2）		受験したら〇➡			

後期	第1回	10月19日		オリエンテーション 体育理論 (No. 3について)		P190～P195	3	10月26日		
	第2回	10月26日		体育理論 (No. 4について)		(学習書) P108～109	4	11月9日		
	第3回	11月9日		体づくり運動						
	第4回	11月16日		バドミントン						
	第5回	11月30日		〃						
	第6回	12月7日		〃						
	第7回	12月14日		〃						
	テスト	12月21日			第2回テスト（範囲：レポート3，4）		受験したら〇➡			

履修上の注意	<p>前後期、第1回、第2回およびテストは教室で行うため体操服は不要。教科書・学習書・レポートを持参すること。</p> <p>前後期、第3回～第7回は体育館で行う。本校指定の体操服・シューズで参加すること。</p> <p>テストの出席は必要面接時間数には入りません。必要面接時間の5時間で授業をとってください。</p>
--------	---

# 月曜

教科名	科目名	履修条件		必履・選択必履・選択の別	担当教員
保健体育	保健	なし		必履修	
単位数	開講時間数	必要面接時間数	テスト回数	レポート枚数	最終締め切り日
前期 2	前期 9	前期 2	前期 2	前期 6	前期 9月 2日

教科書・学習書等	大修館書店 現代高等保健体育701・NHK出版学習書	成績評価の方法	学習態度、レポート、テストの成績を総合的に評価
学習の到達目標			
個人および社会生活における健康・安全について理解を深め、健康について自他や社会の課題を発見し、生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指す。			
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
個人だけでなく社会生活について総合的に理解できる。	自他や社会の課題を発見し、よりよい解決に向けて思考したり判断したりすることができる。	現在および将来の生活を健康で活力に満ちた明るく豊かなものにすることができる。	

## 面接指導計画

回	月日	指導内容・テスト及びその範囲（レポート番号）	出席記録	教科書範囲	レポートNo.	提出期限	送付・提出した日	レポート受取日
前期	第1回	4月20日			p 6～19	1		
	第2回	4月27日			p 6～19	1	5月11日	
	第3回	5月11日			p 20～35	2	5月18日	
	第4回	5月18日			p 36～58	3	6月1日	
	第5回	6月1日	まとめ					
	テスト	6月8日	第1回テスト（範囲：レポート1, 2, 3）		受験したら○→			受験しなかった場合は再試を申し込みましょう
	第6回	6月22日			p 60～74	4	6月29日	
	第7回	6月29日			p 76～98	5	7月6日	
	第8回	7月6日			p 100～129	6	8月24日	
	第9回	8月24日	まとめ					
テスト	9月7日	第2回テスト（範囲：レポート4, 5, 6）		受験したら○→			受験しなかった場合は再試を申し込みましょう	

履修上の注意	<ul style="list-style-type: none"> <li>教科書や学習書をもとに学習を進めてください。</li> <li>レポートの内容は、教科書や学習書に載っていますので、空欄のないように提出してください。</li> <li>空欄のあるレポートや内容が充実していないレポートについては再提出になります。</li> <li>提出期限に遅れたレポートは点数がつきません。</li> <li>テストの出席は必要面接時間には入りません。</li> <li>必要面接時間数は少ないですが、授業に出ることで理解も深まりますし、レポートの提出もスムーズになると思います。</li> </ul>
--------	--

月曜

教科名	科目名	履修条件			必修・選択必修・選択の別	担当教員
外国語	英語コミュニケーションⅠ	英語コミュニケーション基礎を修得した人が望ましい			必修	
単位数	開講時間数	必要面接時間数	テスト回数	レポート枚数	レポート・放送視聴票最終締め切り日	
前期 2	前期 9	前期 8	前期 2	前期 6	前期 9月 2日	
後期 2	後期 9	後期 8	後期 2	後期 6	後期 1月27日	

教科書・学習書等	東京書籍 All Aboard! English Communication I (2 東書 CI002-901)、学習書	対応視聴番組※ NHKテレビ高校講座 英語コミュニケーションⅠ	成績評価の方法	学習態度、レポート、テストの成績を総合的に評価
学習の到達目標				
英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、聞くこと、話すこと、読むこと、書くことなどの総合的な能力を養う。				
知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度
外国語の学習を通じて、言語やその運用に関する知識を身につけていると共に、その背景にある文化などを理解している。また、外国語を聞いたり読んだりして、情報や考えなどを適切に理解している。		外国語で話したり聞いたりして、情報や自分の考えなどを思考・判断し、適切に整理して伝えている。		英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成する。

面接指導計画

回	月日	指導内容・テスト及びその範囲（レポート番号）	対応視聴番組※の回	出席記録	教科書範囲	レポートNo.	提出期限	送付・提出した日	レポート受取日
前期	第1回	4月20日 オリエンテーション Lesson 1 Breakfast around the World	4回・5回		pp 16~23				
	第2回	4月27日 Lesson 1 Breakfast around the World Lesson 2 Australia's Cute Quokkas	5回・6回		pp 16~23 pp 24~31	1	5月11日		
	第3回	5月11日 Lesson 2 Australia's Cute Quokkas	6回・7回		pp 24~31	2	5月18日		
	第4回	5月18日 Lesson 3 Life with Spade	8回・9回		pp 34~41				
	第5回	6月1日 Lesson 3 Life with Spade Lesson 4 A Miracle Mirror	9回・11回		pp 34~41 pp 44~53	3	6月8日		
	第6回	6月8日 Lesson 4 A Miracle Mirror	11回・13回		pp 44~53	4	6月22日		
	テスト	6月22日	第1回テスト（範囲：レポート1, 2, 3）		受験したら○➡			受験しなかった場合は再試を申し込みましょう	
	第7回	6月29日 Lesson 5 A Dream Engine	17回・18回		pp 56~65				
	第8回	7月6日 Lesson 5 A Dream Engine Reading 1 Short Stories in English	18回・20回		pp 56~65 pp 70~73	5	8月24日		
	第9回	8月24日 Reading 1 Short Stories in English	19回・20回		pp 70~73	6	8月31日		
	テスト	9月7日	第2回テスト（範囲：レポート4, 5, 6）		受験したら○➡			受験しなかった場合は再試を申し込みましょう	

後期	第1回	10月5日 Lesson 6 A Funny Picture from the Edo Period	21回・22回		pp 74~83				
	第2回	10月19日 Lesson 6 A Funny Picture from the Edo Period Lesson 7 A Diary of Hope	22回・23回		pp 74~83 pp 84~93	7	10月26日		
	第3回	10月26日 Lesson 7 A Diary of Hope	23回・24回		pp 84~93	8	11月9日		
	第4回	11月9日 Lesson 8 A Door to a New Life	26回・27回		pp 94~103				
	第5回	11月16日 Lesson 8 A Door to a New Life Lesson 9 Ghosts in the Oceans	27回・29回		pp 94~103 pp 108~119	9	11月30日		
	第6回	11月30日 Lesson 9 Ghosts in the Oceans	30回・31回		pp 108~119	10	12月7日		
	テスト	12月7日	第3回テスト（範囲：レポート7, 8, 9）		受験したら○➡			受験しなかった場合は再試を申し込みましょう	
	第7回	12月14日 Lesson 10 Pigs from across the Sea	34回・35回		pp 120~131				
	第8回	12月21日 Lesson 10 Pigs from across the Sea Reading 2 Mujina	36回・38回		pp 120~131 pp 132~137	11	1月18日		
	第9回	1月18日 Reading 2 Mujina	37回・38回		pp 132~137	12	1月25日		
	テスト	2月1日	第4回テスト（範囲：レポート10, 11, 12）		受験したら○➡			受験しなかった場合は再試を申し込みましょう	

履修上の注意	英語は自分で学ぶのが大変なので必修が多くなっています。必ずスクーリングに出席しましょう。
--------	--

# 月曜

教科名	科目名	履修条件		必履・選択必履・選択の別	担当教員
家庭	家庭基礎	家庭総合を修得していない		選択必履修	
単位数	開講時間数	必要面接時間数	テスト回数	レポート枚数	レポート・放送視聴票最終締め切り日
後期 2	後期 9	後期 6	後期2	後期 6	後期 1月27日

教科書・ 学習書等	教育図書「家基006-901」 『ウェルビーイングにつなぐ家庭基礎』 最新生活ハンドブック（第一学習社）	対応視聴番組	成績評価 の 方法	学習態度、レポート、テストの成績を総合的に評価
		教科担当の指示による		
学習の到達目標				
生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を通して、様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、男女が協力して主体的に家庭や地域の生活を創造する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。				
知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度
生活を主体的に営むために必要な人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などの基礎的なことについて理解しているとともに、それらに係る技能を身に付けている。		生涯を見通して、家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。		様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。

## 面接指導計画

回	月日	指導内容・テスト及びその範囲（レポート番号）	出席記録	教科書範囲	レポートNo.	提出期限	送付・提出した日	レポート受取日
第1回	10月5日	生涯の生活設計1 青年期の自立と家族・家庭		p 6～ p 26	1	10月19日		
第2回	10月19日	子どもの生活と保育		p 28～ p 46	2	10月26日		
第3回	10月26日	高齢期の生活と福祉・共生社会と福祉		p 48～ p 68	3	11月9日		
第4回	11月9日	食生活と健康		p 69～ p 124	4	11月30日		
第5回	11月16日	〃		p 69～ p 124	4			
後期 テスト	11月30日	第1回テスト（範囲：レポート1、2、3）	受験したら○➡			受験しなかった場合は再試を申し込みましょう		
第6回	12月7日	衣生活と健康・住生活と住環境		p 126～ p 170	5	12月21日		
第7回	12月14日	〃		p 126～ p 170	5			
第8回	12月21日	消費生活と経済計画・持続可能なライフスタイルと環境 生涯の生活設計2		p 172～ p 213	6	1月20日		
第9回	1月18日	〃  まとめ		p 172～ p 213	6			
テスト	2月1日	第2回テスト（範囲：レポート4、5、6）	受験したら○➡			受験しなかった場合は再試を申し込みましょう		

履修上の注意	月曜スクーリングでは、実験・実習はおこないません。
--------	---------------------------

# 月曜

教科名	科目名	履修条件		必修・選択必修・選択の別	担当教員
家庭	保育基礎	なし		選択	
単位数	開講時間数	必要面接時間数	テスト回数	レポート枚数	レポート・放送視聴最終締め切り
前期 2	前期 9	前期 6	前期 2	前期 6	前期 9月2日

教科書・学習書等	教育図書 「家庭706」 『保育基礎 ようこそ、共に育ち合う保育の世界へ』	対応視聴番組	成績評価の方法	学習態度、レポート、テストの成績を総合的に評価
		教科担当の指示による		
学習の到達目標				
家庭の生活に関わる産業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、保育を担う職業人として必要な基礎的な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。				
知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度
子どもの発達の特徴、生活と保育に関する知識を総合的に理解しているとともに、保育に関する基礎的・基本的な技術を総合的に身に付けている。		子どもの発達や保育に関わる現状について理解を深めた上で課題を発見し、その解決をめざして思考を深め、適切に判断し、工夫し創造する能力を身に付けている。		子どもの発達や保育への関心を持ち、意欲的に学習に取り組み、子どもの健やかな発達や保育に寄与していこうとする実践的な態度を身に付けている。

## 面接指導計画

回	月日	指導内容・テスト及びその範囲（レポート番号）	出席記録	教科書範囲	レポートNo.	提出期限	送付・提出した日	レポート受取日
第1回	4月20日	子どもの保育		p 5～ p 26	1	4月27日		
第2回	4月27日	子どもの発達		p 27～ p 50	2	5月18日		
第3回	5月11日	〃		p 27～ p 50	2			
第4回	5月18日	子どもの健康と生活、子どもの食事		p 51～ p 73	3	6月1日		
第5回	6月1日	子どもの衣服と寝具、子どもの健康と安全		p 74～ p 96	4			
前期 テスト	6月8日	第1回テスト（範囲：レポート1、2、3）		受験したら○➡		受験しなかった場合は再試を申し込みましょう		
第6回	6月22日	子どもの衣服と寝具、子どもの健康と安全		p 74～ p 96	4	6月29日		
第7回	6月29日	子どもの福祉		p 97～ p 108	5	7月6日		
第8回	7月6日	子どもの文化		p 109～ p 133	6	8月24日		
第9回	8月24日	まとめ						
テスト	9月7日	第2回テスト（範囲：レポート4、5、6）		受験したら○➡		受験しなかった場合は再試を申し込みましょう		

履修上の注意	
--------	--

月曜

教科名	科目名	履修条件		必履・選択必履・選択の別	担当教員
家庭	フードデザイン	なし		選択	
単位数	開講時間数	必要面接時間数	テスト回数	レポート枚数	レポート・放送視聴票最終締切
前期 2	前期 9	前期 6	前期 2	前期 6	前期 9月 2日
後期 2	後期 9	後期 6	後期 2	後期 6	後期 1月27日

教科書・学習書等	教育図書 「フードデザイン Food Changes LIFE」	対応視聴番組	成績評価の方法	スクーリングへの取り組み、レポート、テストの成績を総合的に評価
		教科担当の指示による		

学習の到達目標

家庭の生活に関わる産業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、食生活を総合的にデザインするとともに食育を推進し、食生活の充実向上を担う職業人として必要な資質・能力を次の通り育成することを目指す。  
 (1) 栄養、食品、献立、調理、テーブルコーディネートなどについて体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。  
 (2) 食生活の現状から食生活全般に関する課題を発見し、食生活の充実向上を担う職業人として合理的かつ創造的に解決する力を養う。  
 (3) 食生活の充実向上を目指して自ら学び、食生活の総合的なデザインと食育の推進に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
健康と食生活、フードデザインの構成要素、食事のテーマに応じた献立作成や食材の選択と調理、テーブルコーディネートと各料理のサービス方法、食育推進の重要性などに関する知識を体系的に理解しているとともに、それらに係る技能を身に付けている。	健康な食生活の在り方やフードデザインの構成要素、食事計画、家庭や学校及び地域における食育の推進などについて課題を見出し、思考を深め、食生活の充実向上を担う職業人として合理的かつ創造的に解決する力を身に付けている。	食生活に関する諸問題に関心をもち、食生活を総合的にデザインすることや食育の推進に向けて、主体的に取り組もうとする態度を身に付けている。

面接指導計画

回	月日	指導内容・テスト及びその範囲（レポート番号）	出席記録	教科書範囲	レポートNo.	提出期限	送付・提出した日	レポート受取日
第1回	4月20日	食事の意義と役割、食を取り巻く現状		P5～14	1	4月27日		
第2回	4月27日	栄養素と消化・吸収、各栄養素のはたらき①		P15～26	2	5月11日		
第3回	5月11日	各栄養素のはたらき②		P27～35	3	5月18日		
第4回	5月18日	食品とその特徴①		P36～47	4	6月8日		
第5回	6月1日	〃						
前期 テスト	6月8日	第1回テスト（範囲：1，2，3）		受験したら○➡		受験しなかった場合は再試を申し込みましょう		
第6回	6月22日	食品とその特徴②		P48～63	5	7月6日		
第7回	6月29日	〃						
第8回	7月6日	何をどれだけ食べる？		P64～74	6	8月24日		
第9回	8月24日	まとめ						
テスト	9月7日	第2回テスト（範囲：4，5，6）		受験したら○➡		受験しなかった場合は再試を申し込みましょう		

後期	第1回	10月5日	食品選択のコツ、食品の衛生と安全、食の安全を考えて選ぶ		P75～88	7	10月26日		
	第2回	10月19日	〃						
	第3回	10月26日	なぜ調理するのか、調理操作と調理器具		P89～102	8	11月16日		
	第4回	11月9日	〃						
	第5回	11月16日	料理の様式		P103～115	9	11月30日		
	第6回	11月30日	テーブルコーディネート		P116～128	10	12月7日		
	テスト	12月7日	第3回テスト（範囲：7，8，9）		受験したら○➡		受験しなかった場合は再試を申し込みましょう		
	第7回	12月14日	食育推進の取り組み、食文化を見つめる		P129～141	11	12月21日		
	第8回	12月21日	食と環境について考えよう、献立を考えてみよう、SDGsを意識して調理をもっと楽しもう、災害時の食について考えてみよう		P142～155 P234～241	12	1月18日		
	第9回	1月18日	まとめ						
	テスト	2月1日	第4回テスト（範囲：10，11，12）		受験したら○➡		受験しなかった場合は再試を申し込みましょう		

履修上の注意	調理実習は行いません。
--------	-------------

月曜

教科名	科目名	履修条件			必修・選択必修・選択の別	担当教員
情報	情報 I	なし			必修	
単位数	開講時間数	必要面接時間数	テスト回数	レポート枚数	レポート・放送視聴票最終締め切り日	
後期 2	後期 9	後期 4	後期 2	後期 6	後期 1月27日	

教科書・ 学習書等	東京書籍 新編情報 I 2 東書情 I 002-901 NHK出版 新編情報 I 701 学習書	対応視聴番組※	成績評価の 方法	学習態度、レポート、テストの成績を総合的に評価
		NHK 高校講座 「情報 I」		
学習の到達目標				
<p>情報に関する科学的な見方・考え方を働かせ、情報技術を活用して問題の発見・解決を行う学習活動を通して、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用し、情報社会に主体的に参画するための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 効果的なコミュニケーションの実現、コンピュータやデータの活用について理解を深め技能を習得するとともに、情報社会と人との関わりについて理解を深めるようにする。</p> <p>(2) 様々な事象を情報とその結び付きとして捉え、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する力を養う。</p> <p>(3) 情報と情報技術を適切に活用するとともに、情報社会に主体的に参画する態度を養う。</p>				
知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度
効果的なコミュニケーションの実現、コンピュータやデータの活用について理解し、技能を身に付けているとともに、情報社会と人との関わりについて理解している。		事象を情報とその結び付きの視点から捉え、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に用いている。		情報社会との関わりについて考えながら、問題の発見・解決に向けて主体的に情報と情報技術を活用し、自ら評価し改善しようとしている。

面接指導計画

回	月日	指導内容・テスト及びその範囲（レポート番号）	対応視聴番組※の回	出席記録	教科書範囲	レポート No.	提出期限	送付・提出した日	レポート受取日
後期	第1回	10月5日	1章 情報で問題を解決する 1～7	1～5		p8～p21	No.1	10月19日	
	第2回	10月19日	1章 情報で問題を解決する 8～10			p22～p34	No.2	10月26日	
	第3回	10月26日	2章 情報を伝える 11～14	6～10		p36～p43	No.3		
	第4回	11月9日	2章 情報を伝える 15～20			p44～p62	No.3	11月16日	
	第5回	11月16日	ソフトウェアの操作実習			p154～p160			
	テスト	11月30日	第1回テスト（範囲：レポート1, 2, 3）		受験したら○➡		受験しなかった場合は再試を申し込みましょう		
	第6回	12月7日	3章 コンピュータを活用する 21～26	11～15		p64～p75	No.4	12月14日	
	第7回	12月14日	3章 コンピュータを活用する 27～30			p76～p90	No.5	12月21日	
	第8回	12月21日	4章 データを活用する 31～35	16～20		p92～p101	No.6		
	第9回	1月18日	4章 データを活用する 36～40			p102～p118	No.6	1月25日	
テスト	2月1日	第2回テスト（範囲：レポート4, 5, 6）		受験したら○➡		受験しなかった場合は再試を申し込みましょう			

履修上の注意	スクリーニングではパソコン操作実習もできるだけ取り入れていきます。一度休むと分からなくなりやすいので、休まず出席してください。
--------	---

月曜

教科名	科目名	履修条件			必修・選択必修・選択の別	担当教員
商業	ビジネス基礎	なし			選択	
単位数	開講時間数	必要面接時間数	テスト回数	レポート枚数	レポート・放送視聴票最終締め切り日	
前期 2	前期 9	前期 4	前期 2	前期 6	前期 9月 2日	
後期 2	後期 9	後期 4	後期 2	後期 6	後期 1月27日	

教科書・学習書等	実教「商業007-901」ビジネス基礎・学習書	対応視聴番組	成績評価の方法	学習態度、レポート、テストの成績を総合的に評価
		NHK高校講座「ビジネス基礎」※		
学習の到達目標				
商業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、ビジネスを通じ、地域産業をはじめ経済社会の健全で持続的な発展を担う職業人として必要な基礎的な資質・能力を育成することを目指す。				
知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度
ビジネスについて実務に即して体系的・系統的に理解し、ビジネスの様々な場面で役に立つ、ビジネスに関する基礎的な知識と技術を身に付けている。		ビジネスをはじめとして様々な知識、技術を活用し、ビジネスに関する課題を発見するとともに、企業活動が社会に及ぼす影響を踏まえ、改善に要する根拠に基づいて工夫してよりよく解決することについて考えている。		ビジネスを適切に展開する力の向上を目指して自らビジネスについて学ぶ態度及び組織の一員として当事者としての意識をもち、積極的にに関わり、ビジネスの創造と発展に取り組もうとしている。

面接指導計画

回	月日	指導内容・テスト及びその範囲（レポート番号）	対応視聴番組※の回	出席記録	教科書範囲	レポートNo.	提出期限	送付・提出した日	レポート受取日
前期	第1回	4月20日 私たちの社会とビジネス	1		P20～P34	1	4月27日		
	第2回	4月27日 ビジネスとコミュニケーション	2		P36～P56	2	5月11日		
	第3回	5月11日 経済と流通の基礎	3, 4, 5		P58～P74	3			
	第4回	5月18日 //	"		"	3	6月1日		
	第5回	6月1日 ビジネスの種類・小売業	6, 7		P76～P91	4			
	テスト	6月8日	第1回テスト（範囲レポート1, 2, 3）		受験したら○➡		受験しなかった場合は再試を申し込みましょう		
	第6回	6月22日 ビジネスの種類・小売業	6, 7		P76～P91	4	6月29日		
	第7回	6月29日 卸売業・物流業	8, 9		P92～P97	5	7月6日		
	第8回	7月6日 金融業・情報通信業	10, 11		P98～P112	6			
	第9回	8月24日 //	"		"	6	9月2日		
テスト	9月7日	第2回テスト（範囲レポート4, 5, 6）		受験したら○➡		受験しなかった場合は再試を申し込みましょう			

後期	第1回	10月5日 ビジネスと企業	12		P104～P121	7			
	第2回	10月19日 //	"		P104～P159	7	10月26日		
	第3回	10月26日 マーケティングの重要性・資金調達・財務諸表の役割	13, 14, 15		P122～P159	8	11月9日		
	第4回	11月9日 企業活動と税・雇用	15, 16		P44～P61	9	11月16日		
	第5回	11月16日 売買取引の手順・代金決済	17, 18		P62～P75	10			
	テスト	11月30日	第1回テスト（範囲レポート7, 8, 9）		受験したら○➡		受験しなかった場合は再試を申し込みましょう		
	第6回	12月7日 売買取引の手順・代金決済	"		P62～P75	10	12月14日		
	第7回	12月14日 代金決済・ビジネス計算の基礎	18, 19			11	12月21日		
	第8回	12月21日 ビジネス計算の応用・身近な地域のビジネス	19, 20		P252 ～P267	12			
	第9回	1月18日 //	"			12	1月27日		
テスト	2月1日	第2回テスト（範囲レポート10, 11, 12）		受験したら○➡		受験しなかった場合は再試を申し込みましょう			

履修上の注意	教科書と学習書をよく読んで、報告課題を丁寧に仕上げること。
--------	-------------------------------

# 月曜

教科名	科目名	履修条件			必修・選択必修・選択の別	担当教員
商業	簿記	なし			選択必修	
単位数	開講時間数	必要面接時間数	テスト回数	レポート枚数	レポート・放送視聴票最終締め切り日	
前期 2	前期 9	前期 4	前期 2	前期 6	前期 9月 2日	
後期 2	後期 9	後期 4	後期 2	後期 6	後期 1月27日	

教科書・ 学習書等	実教「商業007-904」新簿記、最新段階式 簿記検定問題集全商3級	対応視聴番組※	成績評価の 方法	学習態度、レポート、テストの成績を総合的に評価
		簿記		
学習の到達目標				
企業経営の基礎となっている会計制度の内容を知り、取引を仕訳し、勘定記入を経て、決算に至る簿記の基本的な実務に習熟する。				
知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度
簿記について実務に即して体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けている。		取引の記録と財務諸表の作成の方法の妥当性と課題を見だし、ビジネスに携わる者として科学的な根拠に基づいて創造的に課題に対応する力を身に付けている。		企業会計に関する法規と基準を適切に適用する力の向上を目指して自ら学び、適性な取引の記録と財務諸表の作成に主体的かつ協働的に取り組もうとしている。

## 面接指導計画

回	月日	指導内容・テスト及びその範囲（レポート番号）	対応視聴番組※の回	出席記録	教科書範囲	レポートNo.	提出期限	送付・提出した日	レポート受取日
前期	第1回	4月20日 簿記の基礎 資産・負債・資本と貸借対照表	1・2		P14-P24	1			
	第2回	4月27日 収益・費用と損益計算書	3		P14-P24 P25-P39	①・2	5月11日		
	第3回	5月11日 取引と勘定	4		P25-P39	②	5月18日		
	第4回	5月18日 仕訳と転記 仕訳帳と総勘定元帳	5		P40-P52	3			
	第5回	6月1日 試算表	6		P40-P52 P53-P63	③・4	6月8日		
	第6回	6月8日 精算表	6		P53-P63	④	6月29日		
	テスト	6月22日	第1回テスト（範囲：レポート1, 2, 3）		受験したら○➡			受験しなかった場合は再試を申し込みましょう	
	第7回	6月29日 決算1	7		P64-P76	5			
	第8回	7月6日 決算2 現金・預金などの取引1	8・9・10		P64-P76 P77-P93	⑤・6	8月24日		
	第9回	8月24日 現金・預金などの取引2	10・11		P77-P93	⑥	9月2日		
テスト	9月7日	第2回テスト（範囲：レポート4, 5, 6）		受験したら○➡			受験しなかった場合は再試を申し込みましょう		

後期	第1回	10月5日 商品売上の取引1（3分法）	12		P94-P99	7			
	第2回	10月19日 商品売上の取引2（商品有高帳）	12		P94-P99 P100-P109	⑦・8	10月26日		
	第3回	10月26日 掛け取引1（売掛金）	12		P100-P109	⑧	11月9日		
	第4回	11月9日 掛け取引2（買掛金） その他の債権・債務の取引	15		P110-P124	9			
	第5回	11月16日 固定資産の取引 販売費および一般管理費	14		P110-P124 P125-P144	⑨・10	11月30日		
	第6回	11月30日 決算整理（その1）	17		P125-P144	⑩	12月14日		
	テスト	12月7日	第3回テスト（範囲：レポート7, 8, 9）		受験したら○➡			受験しなかった場合は再試を申し込みましょう	
	第7回	12月14日 8桁精算表	18		P145-P162	11			
	第8回	12月21日 帳簿決算	18		P145-P162 P164-P180	⑪・12	1月18日		
	第9回	1月18日 会計帳簿 伝票の利用			P164-P180	⑫	1月27日		
テスト	2月1日	第4回テスト（範囲：レポート10, 11, 12）		受験したら○➡			受験しなかった場合は再試を申し込みましょう		

履修上の注意	簿記を理解するには日々の反復学習が重要で、学習を怠るとわからなくなってしまう。授業は、自宅でレポートをひと通りやって受講してください。資格取得を目指すこともできます。
--------	---